

# 観光学

第10号2021年度  
(2022年3月発行)

JITR-Kansai  
Japan Institute of  
Tourism Research No.10



★日本観光研究学会・関西支部（JITR-Kansai）ホームページ→【 <http://www.kankoryoku.jp/> 】  
ニュースレター『観光学』第10号 2021年度（2022年3月発行）

## 1. 2021（令和3）年度関西支部活動をふりかえって（支部長 小長谷一之）

本年も1年間、コロナ禍の条件下での支部活動となりました。本年も感染予防マネジメントをおこない、感染がおちついた時期をねらって、代表的な2大活動（中四国の会員・地域の応援のための「中四国現地研修会」、関西地域の自治体応援のための「地区懇話会」）を無事、現地開催できました。ただし明るい展望として2025年の大阪・関西万博があり、意見交換会で「大阪・関西万博と観光 PART II～万博と観光復興のデザイン」として担当責任者や専門家に情報提供いただき、活発な議論をおこないました。関心高く多数の参加があり、万博をめぐる論議に貢献できたのではと思っております。関係のみなさまに深く感謝申し上げます。

## 2. 2021（令和3）年度関西支部活動をふりかえって（副支部長 原一樹）

コロナ禍の続く2021年度でしたが、中四国研修会を愛媛県（大洲・内子）にて、地区懇話会を高槻市にて、開催できました。また、第18回関西支部意見交換会と、観光学研究部会を2回（コロナ禍における旅行者の観光地再訪問意向と社会的コストの問題、及び捕鯨と観光の問題）、観光サロンを1回（地方の小規模旅館の生存戦略と旅館の人材育成）、オンラインで開催し、多くの知見が得られました。今後とも、支部活動を宜しく願います。

## 3. 支部活動1『関西支部総会』+『第18回 意見交換会：関西から観光立国・立圏を考える』「大阪・関西万博と観光 PART II～万博と観光復興のデザイン」（後援：国土交通省近畿運輸局）

【総会】（1）日時：2021年5月29日（土）。11：30～12：00。（2）会場：Zoom。（3）議案 第1号議案・2020年度活動報告ならびに収支決算、第2号議案・2021年度活動計画ならびに収支予算案、無事終了しました。

【意見交換会】（1）日時：2021年5月29日（土）。13：00～15：30。（2）会場：Zoom。（3）プログラム 1）支部長挨拶・趣旨説明：日本観光研究学会関西支部長 小長谷一之（大阪市立大学大学院都市経営研究科 教授）。2）特別講演：「関西における観光政策の現状」国土交通省近畿運輸局観光部長 角谷敬二郎氏。3）基調講演「大阪・関西万博の基本計画とこれから」公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 戦略事業部審議役 檜垣 亨氏。4）オンラインシンポジウム「大阪・関西万博と観光復興のデザイン」○コーディネータ：日本観光

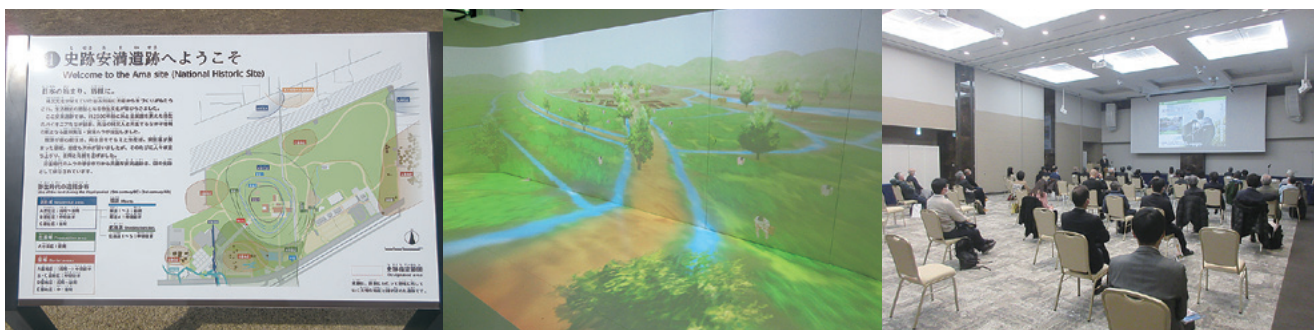
研究会関西支部事務局長 松田充史（大阪成蹊大学経営学部 教授）。○パネリスト：国土交通省近畿運輸局 観光部長 角谷敬二郎氏。公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 戦略事業部審議役 檜垣 亨氏。日本観光研究学会元会長・大阪市立大学大学院 客員教授 桑田政美氏。公益財団法人大阪観光局 マーケティング事業部長 塩見正成氏。株式会社電通関西支社 メディア・ビジネスクリエーション部長 戸田慶太郎氏。WAKAZO 2021 代表／東京医科歯科大学医学部医学科3年生 木島優美氏。大阪・関西再生の切り札として期待のかかる大阪・関西万博について、「大阪・関西万博と観光 PARTⅡ～万博と観光復興のデザイン」と題し、専門家をお招きし定例の第18回「関西から観光立国・立圏を考える」意見交換会を開催しました。関西では新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、引き続き十分な注意が必要とされていたため、今年度はオンラインにより、会員にかかわらず、すべての方にご参加いただけることにしました。（文責：高田剛司）



#### 4. 支部活動2『地区懇話会』「高槻は魅力資源の玉手箱 「観光」がまちの価値を高める—関西の「中央都市」として、高槻のめざす「観光」を考える—」（主催：日本観光研究学会関西支部主催、後援：高槻市、高槻商工会議所、（公社）高槻市観光協会、協力：ホテルアベストグランデ高槻）

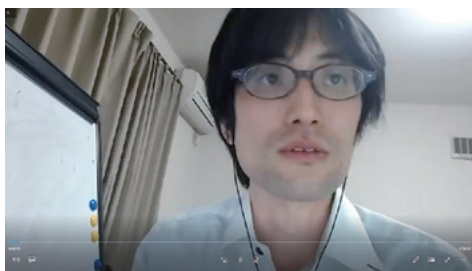
【日時】2022年3月20日（日）9:30 集合～エクスカーション、14:00～基調講演・シンポジウム【会場】ホテルアベストグランデ高槻（JR高槻駅前北口）★「地区懇話会とは？」日本観光研究学会の関西支部で毎年、自治体と連携する地域大会です。近年「定住人口だけでなく交流人口へも注目」という政策で一般的な住宅都市や産業都市でも観光都市を目指すところが増えてきており、これまで堺市（2016年度）、池田市（2017年度）、河内長野市（2018年度）、尼崎市（2020年度）と応援し、2021年度は高槻市で開催することになりました。高槻市では、これまで、今城塚古墳や安満遺跡など歴史資源の魅力的な公園化、摂津峡の活性化、体験交流型観光である「オープンたかつき」など、身近にある自然や歴史、農業、食など多様な資源を対象に、市民とともに磨きをかけ観光に取り組んできました。そして、新たに「将棋のまち」にも力を入れています。今回は、市長様、酒造会社、カフェ経営者、ホテル経営者、観光協会など民間のキーパーソンがそろって、高

観光の魅力や今後の可能性について語り合い、大変盛り上がりしました。【プログラム詳細】●第1部：市内見学（エクスカーション）9:30～12:00 ○集合：JR 高槻駅観光案内所前（1）関西将棋会館建設予定地（2）今城塚古墳公園・今城塚古代歴史館（3）安満遺跡公園（4）JR 高槻駅周辺で解散。●第2部（シンポジウム）14:00～16:00 ○基調講演 高槻市長 濱田剛史氏。○パネルディスカッション＜パネラー＞石井清祐氏（清鶴酒造株式会社 代表取締役社長）、平形直美氏（キャンプギア&カフェベース オーナー）、榎一隆治氏（株式会社アベストコーポレーション 取締役副社長）、北 建夫氏（公益社団法人高槻市観光協会 事務局長）＜コーディネータ＞小長谷 一之氏（日本観光研究学会関西支部長、大阪市立大学大学院教授）【総括】会場からも活発な提案もあり、1）たかつき観光大使である「高槻やよい」や、安満遺跡公園が鉄道スポットになっていることなど、高槻にある個別のテーマを活かしたファンコミュニティをもっとつくって、2）市内の東側にある安満遺跡公園で古代米を生産し、それを市内の西側にある酒蔵と協力してオリジナルのお酒をつくるなど取組をやってみてはどうか、3）市内で定番のハイキングコースをいくつかつくって、案内するガイドツアーを行ってはどうか、などの意見がありました。最後に3点をまとめとして提言しました。1）「市民力のまちなのでニューツーリズム」2）「ワーケーションやヘルスツーリズム」3）「今後の課題は回遊性」今回は盛況でした。市役所および関係団体のみなさまのご協力に深く感謝申し上げます。（文責：原田弘之）



## 5. 支部活動3「観光学研究部会」

（1）第1回観光学研究部会 【日時】2021年10月26日（火）20:00～【会場】オンライン（Zoom）  
【テーマ】「コロナ禍における旅行者の観光地再訪問意向と社会的コスト：観光地イメージと旅行不安の観点から」【講師】増田 央（ますだ ひさし）氏（京都大学経営管理大学院 特定講師）。



（2）第2回観光学研究部会 【日時】2021年11月30日（火）20:00～【会場】オンライン（Zoom）  
【テーマ】「コロナと捕鯨と観光と—アイランドの事例より—」【講師】浜口 尚（はまぐち ひさし）氏（園  
田学園女子大学短期大学部 名誉教授）。



## 6. 支部活動4「観光サロン」

（1）第1回観光サロン 【日時】2021年12月28日（火）20:00～【会場】オンライン（Zoom）【テ  
ーマ】「地方の小規模旅館の生存戦略と旅館の人材育成」【講師】石坂大輔（いしざかだいすけ）氏（株式会社  
ヤドロク 代表取締役）株式会社ヤドロクが所有する3軒の旅館を事例に、ニッチな分野に特化することで差  
別化を図り価格競争に巻き込まれない戦略の話と、大学生向けインターンシップ、および社会人向け「旅館  
MBA」講座から読み解く旅館の人材育成方法をお話いただきました。



## 7. 支部活動5『中四国現地研修会』「大洲・内子研修」

【会場】仁淀川流域【日時】2022年2月24日（木）～25日（金）。○現地集合：2月24日（木）12:10、  
JR 伊予大洲駅、○現地解散：2月25日（金）15:30、JR 内子駅。★「中四国研修会とは？」日本観光研究学会  
関西支部では、中四国地域の観光政策担当者との意見交換や中四国地域の会員の参加を念頭に、中四国会員を  
舞台とした研修会を開催しています。2014年度は太平洋岸の高知県（黒潮町の砂浜美術館）、2016年度は瀬  
戸内・四国側の愛媛県（三津浜地区・道後温泉）、2017年度は瀬戸内・中国側の広島県（尾道市の町家再生、  
千光寺山からの坂のまち、しまなみ海道等）、2018年度は日本海側の鳥取・倉吉・由良エリア、2019年度は  
四国・徳島県内陸部の「にし阿波、三好市、祖谷溪観光圏」（アレックスカーの宿）、2020年度は高知県の「仁  
淀川流域」（日本一の清流「仁淀ブルー」で有名）で開催してきました。第7回目の愛媛回は、当初2021年8  
月の実施を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い今年の2月に延期して実施いたしま  
した。地域外のリノベーションが得意な企業と協働し、直しすぎない古民家再生で地域づくりを行っている大  
洲と、伝統物建造物保存地区を中心とした観光まちづくりが古くから注目されている内子を1泊2日の行程で  
訪れました。●行程概要【1日目】2月24日（木）12:10 伊予大洲駅集合。タクシーで大洲城へ。大洲肱南地  
区視察（徒歩）：大洲城（キャッスルステイ）。古い町並の肱南地区。茶の湯文化の臥龍山荘。NIPPONIAHOTEL  
大洲城下町。14:30 意見交換会（NIPPONIAHOTEL いづみやTUNE 棟）【2日目】2月25日（金）9:00 JR 内子

駅集合。9:15 内子町職員の方より説明と意見交換会。10:15 ガイドの案内にて重要伝統物建造物保存地区である町並みを視察（徒歩）。12:00 蕎麦つみ草料理「下芳我邸」にて昼食。13:00 石畳地区視察（石畳の宿、清流園等）。15:30 JR 内子駅で解散。大洲での意見交換会は、大洲のDMOのキタ・マネジメント様やお城ステイや分散型ホテルの運営に携わるバリューマネジメント様、大洲市の商工観光部の皆様にご参加いただき、大変活発な議論がおこなわれました。また、内子町では内子町役場の方や石畳地区でのまちづくりに携わる代表者の方との意見交換を行いました。受け入れ先の皆様のご協力により、たいへん実り多い研修が実施でき無事終了することができました。ここにあらためて、関係の皆様へ深く感謝を申し上げます。（文責：五嶋俊彦）



## 8. 支部活動6 関西支部幹事会開催記録（2021年度）

第1回 2021年4月27日（火）19:30～ 会場：オンライン（Zoom）

- 第2回 2021年5月25日（火）19:30～ 会場：オンライン（Zoom）  
第3回 2021年6月22日（火）19:30～ 会場：オンライン（Zoom）  
第4回 2021年7月27日（火）19:30～ 会場：オンライン（Zoom）  
第5回 2021年9月28日（火）19:30～ 会場：オンライン（Zoom）  
第6回 2021年10月26日（火）19:00～ 会場：オンライン（Zoom）  
第7回 2021年11月30日（火）19:00～ 会場：オンライン（Zoom）  
第8回 2022年1月28日（火）19:00～ 会場：オンライン（Zoom）  
第9回 2022年1月9日（土）15:00～ 会場：オンライン（Zoom）  
第10回 2022年2月8日（火）19:30～ 会場：オンライン（Zoom）  
第11回 2022年3月8日（火）19:30～ 会場：オンライン（Zoom）

## 9. 支部活動7 NPO法人「観光力推進ネットワーク・関西」の応援と協働

### （1）NPO法人「観光力推進ネットワーク・関西」本年度を振り返って（理事長挨拶）小槻文洋

春のアルファ株による第4波、夏のデルタ株による第5波など、2021年度も新型コロナウイルス感染症の流行により一部活動が制限されました。それでも学生連絡協議会には龍谷大学を始め多くの皆さんの参加を得て、秋の京都嵐山・円町での歴史文化体験、2月の第8回学生研究発表会を実施できました。観光マネジメント講座は昨年度同様1月のオンライン開催でしたが、今後はできるだけ対面での実施を探る予定です。2年間の非常時を経て、2022年度が新たな飛躍の年になればと願います。

### （2）NPO法人「観光力推進ネットワーク・関西」本年度を振り返って（副理事長挨拶）松田充史

2021年度はWITHコロナの新しい観光を考えながら「第16回地域創造のための観光マネジメント講座」のオンライン開講をはじめ、学生会員の活動活性化を図るための支援事業として「城崎温泉現地視察」、「歴史文化体験」、「第8回学生研究発表会」の3事業をおこないました。今後も積極的な事業活動をおこないます。

### （3）NPO法人「観光力推進ネットワーク・関西」本年度を振り返って（副理事長挨拶）小長谷一之

本年は1年間、コロナ禍の条件下でのNPO活動となりました。学生の安全のため万全を期して、感染がおちついた時期をねらって、例年の「歴史文化体験」と「城崎研修」を無事、現地開催できました。例年の「学生研究発表会」はオンラインでしたが、7大学16チームという多数の参加があり、優秀なものばかりで、学生の自由な発想と活動力が本当に本会の誇りと思います。

### （4）第16回「地域創造のための観光マネジメント講座」の開催（今年はオンラインで3日間）

【日時】★全8回3日間すべて土曜（2022年1月15日・22日・29日）【会場】オンラインZoom。【プログラム】●第1日目1月15日（土）【ステップ1：地域創造型観光の基盤：地域資源の再発見と再評価の方法】第1回（13:00～14:10）「「地」の観光としてのエコミュージアム」講師：吉兼秀夫（京都外国語大学特任教授）。第2回（14:20～15:30）「見えない宝を探し、創り出すコンテンツツーリズム」講師：原一樹（京都外国語大学教授）。第3回（15:40～16:50）「顧客と地域人材のマーケティング」講師：森山正（大阪観光大学特命教授）。●第2日目1月22日（土）【ステップ2：地域創造型観光の計画：地域資源の観光への活用方法】第4回（13:00～14:10）「ヘルスツーリズムと地域創造」講師：辻本千春（流通科学大学教授）。第5回（14:20～15:30）「観光マネジメントとまちづくりの計画」講師：小阪昌裕（地域計画建築研究所主幹）。第6回（15:40～16:50）「プロモーションとイベントの活用方法」講師：桑田政美（大阪市立大学大学院客員教授）。●第3日目1月29日（土）【ステップ3：地域創造型観光の運営：事業継続の方法】第7回（13:00～14:10）「事業推進のための制度の活用と資金の調達」講師：金井萬造（立命館大学客員教授）。第8回（14:20～15:30）「地域創造型観光のマネジメント～成功事例からみる7つの原則～」講師：小長谷一之（大阪市立大学大学院教授）。

### （5）学生連絡協議会（学連協）の応援

1）観光力ネット・学連協「城崎日帰り研修」【実施日】2021年7月18日（日）【参加人数】学生13名＋同行理事。●スケジュール（1）12:00 JR城崎駅 集合 到着後、城崎温泉のミニツアーを学連協側で実施（昼

食は集合までに各自済ませる) (2) 13:00 頃、旅館施設の見学と旅館で働いている方からの仕事の内容の説明と意見交換会 (西村屋招月庭) (3) 15:00 頃、城崎国際アートセンターの見学と説明 (4) 16:00 頃、自由散策 (グループに分かれて行動) (5) 17:00 頃、JR 城崎駅 解散。(文責: 五嶋俊彦)



**2) 観光カネット・学連協「【歴史・文化体験】秋の嵐山散策&和紙あかり作り体験ツアー」(京都: 嵐山・円町)** 【実施日】2021年10月30日(土) 10:30~16:00 【参加大学】関西国際大学、神戸国際大学、龍谷大学(50音順) 【参加人数】学生12名 【当日の行程】(1) 10:30 嵐山駅集合 (2) 集合後徒歩で野宮神社・竹林の小径を散策後、自由行動 (3) 13:30 昼食後、円町へ移動 (4) 14:00 和紙あかり手作り体験 (@あかりデザイン工房) (5) 16:00 現地解散。(文責: 高根沢均)



**3) 学生研究発表会** 【実施日】2022年2月11日(水) 12:30~18:30 【会場】オンライン 【概要】観光力推進ネットワーク関西学生連絡協議会に所属する学生が1年間研究した成果を発表しあう発表会です。オンラインでしたが多数の参加があり熱のこもった発表が続きました。参加は16チーム、7大学でした 【参加】大阪観光大学、大阪成蹊大学、関西国際大学、京都外国語大学、神戸国際大学、阪南大学、流通科学大学。



（写真）4. 支部活動2『地区懇話会』「高槻は魅力資源の玉手箱」



（写真）7. 支部活動5『中四国現地研修会』「大洲・内子研修」

